

第33回全国修学旅行研究大会

—— 大会主題 感性をはぐくむ修学旅行 ——
学びの集大成を図る修学旅行【被災地復興への継続的支援】



研究大会の開催に当たって

公益財団法人 全国修学旅行研究協会 理事長 岩瀬 正司

現行学習指導要領の全面実施からまだ日も浅い気もしますが、その改訂作業がもう始まっています。教育的意義の高い学校行事である修学旅行が、今後もさらに充実・発展することを強く願っています。

先般、熊本・大分県に大規模地震が起こりました。被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。私たちの協会は「被災地復興への継続的支援」をその事業目標の一つに掲げていますが、東日本大震災と同様に一日も早い復興を願っています。

さて、本年の研究大会は東日本大震災から5回目となる節目を迎え、「被災地への、被災地からの修学旅行」の実践発表をお願いいたしました。また講演には、福島民報社の編集局長に「福島の今」を語っていただく予定です。

ご多用とは思いますが、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

日 時：平成 28 年 7 月 28 日（木）

参加費無料

13:30～17:00【13:00 受付開始】

会 場：ホテルグランドヒル市ヶ谷 3階 瑠璃の間

東京都新宿区市谷本村町 4-1 TEL：03-3268-0111

J R 総武線、都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線
市ヶ谷駅下車 徒歩 3 分

- 主催 公益財団法人 全国修学旅行研究協会
- 後援 文部科学省 観光庁
福島県 東京都教育委員会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会
全国高等学校長協会 日本私立中学高等学校連合会
観光経済新聞社 一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構
日本教育新聞社 近畿日本ツーリスト協定旅館ホテル連盟
教育家庭新聞社 一般社団法人日本旅行業協会
福島民報社 公益財団法人福島県観光物産交流協会
(一部申請中)
- 協賛 近畿日本ツーリスト株式会社

研究主題：学びの集大成を図る修学旅行

—被災地復興への継続的支援—

●全修協調査研究発表

「最近の修学旅行事情」

全国修学旅行研究協会

常務理事

守屋

勝利

●実践発表・1

「大切な奥州との絆 ～私たちにできることを考えて～」

神奈川県横浜市立浦島丘中学校 主幹教諭

本保

朗

氏

同校

教諭

前田

拓也

氏

●実践発表・2

「希望の光と創造の種 ～飯館中だからこそできる修学旅行～」

福島県相馬郡飯館村立飯館中学校 校長

和田

節子

氏

同校

教諭

吉田

良平

氏

●講演（仮題）

「東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から5年 ～福島の実状と課題～」

福島民報社

編集局長

早川

正也

氏

<ご案内>

- 開場は13時00分からとなります。
- 会場（3階瑠璃の間）前に受付を設けております。
- どなたでもご参加いただけます。（例年、教育関係者をはじめ、自治体・旅行・観光関連等の皆様に多数ご参加頂いております）

下記のQRコードからも
お申し込み頂けます



<お問い合わせ・お申し込み>

公益財団法人 全国修学旅行研究協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-6-8 九段南ビル 6F

TEL：03-5275-6651 / FAX：03-5275-6653

E-mail：shuryo@h2.dion.ne.jp / URL：http://shugakuryoko.com/

※7月20日（水）までに下記「参加申込書」にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

Eメールや当協会HP（修学旅行ドットコム）でも受け付けております。

なお、申し込み多数でお断りさせて頂く場合のみ、当事務局よりご連絡致します。

■参加申込書

平成28年 月 日

お名前（ふりがな）	住所 〒 -
勤務先（団体・学校名）
役職名	電話 - -
	E-mail
ご要望等	

2名以上でご参加の場合はコピーしてください。